光明堂と額堂 奉納額他



明治十八年(1885)



後藤仙之助



明治四拾参年五月吉祥日





奉納額 06 関谷寶村

昭和十年(1935) 三月



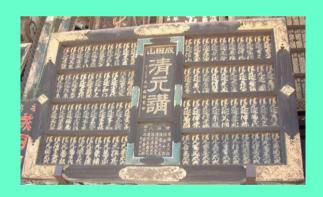
嶋村俊明は十八歳時(明治六年) 十代唐四郎を名跡祈願した奉納額と思われる。



杉崎弥八



後藤清次







日 先 鐘 のが後は200年代本 当日中以本十三世版 給産工作により、 他での本語目により作品本 当日中以本十三世版 給産工作により、 他でもの をできて、 地大小量が充めずる 端 ファエキロ ファエキロ

この梵鐘は江戸時代末当山中興第十三世照輪僧正代に 神田鍋町の藤原国信により鋳造され現本堂が完成する 昭和四十三年まで毎日時を告げていた鐘である。 重さは 912,5 キロ



アメリカ南北戦争 (リンカーン) の時代 将軍家茂の時代の「青銅製大地球儀」 1850~1860 年頃の作



後藤正綱 御用勤退官後、天保年間以後



刻銘箇所



刻 銘



後藤清次郎



嶋村俊明



杉崎弥八



後藤祐正



関谷寶村



天保二年(1831) 補講 後藤正忠門弟 市蔵正國



明王堂の掲額(東大寺別当道恕書)